

この様式は調査員の方が聞き取りにより記入してください。

2015年農林業センサス 農林業経営体調査 客体候補名簿(案)

市区町村	旧市区町村	農業集落	調査区	整理番号	
				客体番号	枝番号
〇〇市					
基本指標番号					
修正がある場合→					
町丁・字・番地・号			ビル・マンション等名(階、号室まで)		
住所又は所在地					
修正がある場合→					
経営体の名称	経営主の氏名(代表者)				
修正がある場合→	修正がある場合→				
郵便番号	-	電話番号			
修正がある場合→	-	修正がある場合→			

注：電話番号は、市外局番から左づめで記入してください。

調査客体の状況について、いずれかに○を記入してください。

調査区内にいない(転居等)	1	(1)	調査はここで終了となります。
調査不能	2		
調査区内にいる	3		

(調査区内にいる場合)→どちらかに○を

家族による経営である (以前に農家または林家であった方や、家族による経営を法人化している場合もこちらに該当します)	(2)	1
家族による経営でない (集落営農等の組織経営を代表(経営)している方)		2

注：1人暮らしまたは家族の中で1人で農業や林業を行っている場合も「家族による経営である」にしてください。

(家族による経営である場合)→該当する場合に○を

「農業生産を行う組織経営」に参加している	組織の営農活動に従事している	(3)	1
	組織の営農活動に従事していない		2

注：農作業サービスのみを行う組織経営に参加している場合を除きます。また、「営農活動に従事」には構成員として従事する以外にオペレータ等として雇われている場合を含みます。

(家族による経営である場合)→該当する場合に○を

世帯の中で複数の経営を行っている	(4)	1
------------------	-----	---

注：世帯の中で、例えば「親」と「子」が収支を独立させて別々に農業や林業の経営をしている場合に「行っている」としてください。

(注意)家族による経営でない場合

- 当該経営とは別に、家族としてなど農業や林業の経営を他にも行っているかどうかを聞き取ります。
- 他にも経営を行っている場合は、その経営体が客体候補一覧表に記載されているか確認します。

(注意)参加している場合

- 参加している組織経営の分を除き、家族による経営の内容に基づき、裏面の判定を行ってください。
- なお、その方が、参加している組織経営体の代表者である場合は、その組織経営体が客体候補一覧表に記載されているか確認します。

(注意)世帯の中で複数の経営を行っている場合

- 当該名簿とは別に新たな名簿を用意し、世帯の中の各経営について、それぞれ判定を行ってください。
- なお、複数の経営がある場合でも、調査票については世帯として1枚に記入するよう説明してください。

当該経営について、引き続き裏面の判定を進めてください。

(5)～(11)で該当するものすべてに○を記入してください。

農業	経営耕地面積が30a以上である		(5)	1
	右下の表(物的指標)に示す規模以上の経営を営んでいる		(6)	1
	農作業及び選果選別等の受託(農業サービス)を行っている		(7)	1
林業	保有山林面積が3ha以上で	過去5年間に育林又は伐採を行っている	(8)	1
		2015年を計画期間に含む「森林施業計画」又は「森林経営計画」を作成している	(9)	1
	委託を受けて造林・保育を行っている		(10)	1
委託を受けて又は立木を購入して200立方メートル以上の素材生産を行っている		(11)	1	

いずれにも○が
つかなかった場合

いずれかに○が
ついた場合

学校、試験場などである (いずれかに○)	該当する	(12)	1
	該当しない		2
過去5年間に経営を (いずれかに○)	新たに開始	(13)	1
	以前から実施		2

「現在の土地に関わる状況」
の記入へ

調査票を配布
①前ページの(2)が「1」の場合
→調査票1ページの「家族経営の方」に
②前ページの(2)が「2」の場合
→調査票1ページの「組織経営の方」に
チェックを記入してください。

現在の土地に関わる状況を記入してください。	(a) (畝)	(ha) (町)	(a) (反)	(a) (畝)
所有している面積 (すでに、山林・原野化した耕地は含みません。) (田・畑・樹園地の面積の合計)	(14)			
うち、貸している耕地 (1年のうち、1作だけの期間を貸し付け、残りの期間を自らが利用した耕地は除く。)	(15)			
うち、耕作を放棄している面積 (過去1年以上作付けしておらず、数年の間に再び作付けする考えのない土地。)	(16)			
借りている耕地 (1年のうち、1作だけの期間を借り入れ、残りの期間を貸し主が利用した耕地は除く。)	(17)			
経営耕地面積((14)-(15)-(16)+(17))	(18)			
保有山林面積 (所有している山林のうち、貸している山林を除き、借りている山林を含めた面積。)	(19)			

過去1年間の 農産物販売金額が (いずれかに○)	販売なし又は 15万円未満	(20)	1
	15万円以上 50万円未満		2

調査はここで終了となります。

- 物的指標**
- 露地野菜作付面積が15アール
 - 施設野菜栽培面積が350平方メートル
 - 果樹栽培面積が10アール
 - 露地花き栽培面積が10アール
 - 施設花き栽培面積が250平方メートル
 - 搾乳牛飼養頭数が1頭
 - 肥育牛飼養頭数が1頭
 - 豚飼養頭数が15頭
 - 採卵鶏飼養羽数が150羽
 - プロイラー年間出荷羽数が1,000羽
 - その他調査期日前1年間における
農産物販売金額が50万円に相当する事業の規模